

**今の太良町だからできること、今年が多良小学校だからできることを、思い切ってやりましょう。**



何ができるの？

何をやればいいのか？

**子ども達に、“自分をレベルアップ(バージョンアップ) させる体験” を、たくさんさせたいです。たくさん、たくさんさせたいです。自分をレベルアップすることを、習慣化したいのです。習慣化すれば、誰からも奪われることのない一生の財産になります。**



学校には、子ども達がレベルアップする機会があふれています。授業はもちろんのこと、生活面、各種行事等、すべてが、子ども達のレベルアップの機会になります。小学生という時期は、できないことやわからないことが、劇的に、できるようになる・わかるようになる時期です。

加えて、太良町は、教育にとっても手厚いです。また、多良小学校は、学校、保護者、地域の関係性がとてもいいです。この多良小学校で、上記の目標が達成できないとすれば、どこにいてもできないだろうと思います。

しかしながら、そう簡単にはいきません。これまでも、誰もが、ずっと目指してきたことでもあります。簡単には解決できない、いくつかの課題があります。それを解決した上で、多良小学校では、職員メンバーが代っても、ずっと続く取組にしたいと考えています。

いっしょに、本気でやってみませんか。ぜひ、いっしょにやりましょう。“いくつかの課題” を裏面で説明します。

**解説**

## 【問題・課題】

- 「おい、“ばか”やっもん。」「わたし、どうせ、できんもん。」「してもいっしょ（何も変わらない）。」そんなことを子ども達に言わせてしまう現状があります。
- 大人の指示待ち、受け身では、大事なことは身に付きません。
- 子ども達それぞれの個性があります。個人差も大きいです。持ち味も違います。（我々職員も、保護者の皆様も、同様だと思います。）
- 時間は限られています。（我々職員も、保護者の皆様も、同様だと思います。）
- 学校、家庭、地域で、“ひっきゃで子育て（みんなで子育て）”という理念は共有しやすいですが、具体的なことを明らかにすることや取組を継続することは、簡単にはいきません。

## 【解決の手がかり】

悩んでばかり、頭を抱えてばかりでは、いられません。

- 個人差は当然のこと。違いがあって当たり前。だからと言って、自分がだめだと思うことは、全く必要ありません。だめだと思って本気で取り組まないことこそ、大問題です。

逆に言えば、本気でやれば、必ず、自分の“成長”“伸び”“変容”があります。多良小学校では、そのことを実感できる教育活動を展開していきます。子ども達の活動保障と適切な個別支援・個別指導、ふりかえり後の教師の賞賛と課題のズバリ指摘をやっていきます。（目指します。）

- 各ご家庭でも、ぜひ、本気でやれば、必ず“成長”“伸び”“変容”があることを、実感させる体験にご協力下さい。『とことんカード』の取組も、この取組の一環です。
- ◎ 結局、子ども達の“本気の芽”に気付くかどうかです。“やる気満々”“本気丸出し”であれば、もちろんわかりやすいし、苦勞もしません。“本気の芽”は、気付かないぐらい目立ちません。個人差もとても大きいです。しかしながら、子ども達をよくよく観ていると、ビフォー（前）、アフター（後）の違いがはっきりわかります。そこを逃さず、みつけて自信をつけていけば、必ず、誰がみても“やる気満々”“本気丸出し”の態度が出てきます。その態度が習慣化し、継続力（根気づよさ）もあるとなれば、“怖いものなし”ではないでしょうか。

# ヒント

学校教育目標『大人も子どもも、目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”』に込めた思いを、解説してみました。まだまだ不明な点等、活発に意見交換していきましょう。